

# 平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

## 【1】平 29 年度一般経過報告

### はじめに

公益社団法人関西吟詩文化協会は、本年創立以来 84 年目。平成 23 年 12 月に「公益社団法人」として内閣総理大臣の認定を受けてから 6 年目を迎えました。

本会は創立以来、「詩歌吟詠活動そのものが国の伝統技芸の伝承と、国民の精神文化の向上発展に寄与している」と信じ、真摯な努力を重ねて参りました。私たちはこの長い歴史の積み重ねを振り返り、先輩諸先生への感謝と誇りをもって吟詠活動に努めるとともに、これからも、「一生初心」の会訓を心に留め、勇気と行動をもって課題に挑戦して参りました。

平成 29 年 6 月 3 日の総会におきまして、役員が改選され、新執行部がスタートし、「温故新生」(視座を変えて)のスローガンを掲げ、現実を直視し、且つ夢と希望を捨てず、より真剣に検討を深めて参りました。

### 方針

- 1.本部と地区連合会・各会が、相互の立場を理解して課題に立ち向かう事。
- 2.公益事業の推進に当っては、本部事業のみに捉われず、幅広く推進すること。
- 3.当面の採算だけでなく中期的な採算改善に取り組む事など、「根幹の問題について、多面的・多角的な角度から、そして長期的な視野で」判断する。
  - ①公益法人に相応しい、より盤石な組織づくり。
  - ②5年後を視野に、財政基盤の健全化。
  - ③局部制実施による適切な運営体制の構築。

### 重点課題

- 1.会員増強諸施策の継続実施。
- 2.人材の育成と研修事業の見直し。
- 3.健全な財務体質確立を目指した中期計画課題の具体的検討。
- 4.創立 85 周年記念地区別吟道大会の開催準備 (平成 30 年度)。
- 5.会館建設積立金の見直し。

## 結果

- 1.会員数は、平成 30 年 3 月末現在 11,543 人となり、765 人 (6.2%) の減少となりました。新入会者数 773 人に対し退会者が 1,538 人でした。
- 2.再入会者数は 105 人で、前年同様 3 桁の増加をみることができました。これは再入会キャンペーンによる効果と考えられます。
- 3.財政の問題につきましては、教本販売等、計画通りの実施により、安定を図ることができました。
- 4.創立 85 周年記念地区別吟道大会の開催準備の為、全国 5 地区 (近畿・東海・中国・四国・九州) に分け、準備委員会から実行委員化へ切替え開催予定日も決定した。  
近畿地区：平成 30 年 10 月 21 日 (日) 尼崎市総合文化会館(アルカニックホール)  
東海地区：平成 31 年 2 月 17 日 (日) 東海市芸術劇場  
中国地区：平成 30 年 11 月 18 日 (日) 広島市安芸区民文化センター  
四国地区：平成 31 年 2 月 24 日 (日) 美馬市地域交流センター  
九州地区：平成 31 年 3 月 10 日 (日) ミリカローデン那珂川

## 5.会館建設積立金の見直し

内閣府に対し、会館建設基金引当資産の取崩・組替について、建設ではなく改修工事への組替の方向性について御教示頂きました。

平成 30 年 3 月 10 日～12 日にかけて引っ越し、4 月より改修工事にかかる。

## 6.会員増員対策として

- 1) 東明未来塾が本部第三期目に加え、西中国・東海・九州と展開され新たに 208 名に修了証が授与されました。受講者の内半数以上が今まで教室指導の経験のない人でしたが、一年間の体系立った講義科目と各講師の熱心な指導に触発され、自分自身で新たに教室を立ち上げた方、これから立ち上げたいという意欲的な方が増えてくるなど、希望的な話しが出てきており、着実な前進をみております。
- 2) 再入会促進キャンペーンの実施  
近年の退会者にスポットを当て再入会促進キャンペーンを展開しました。約 205 人の自宅に総本部会長・各会会長の連名で「再入会お伺い」のハガキを投函し、平成 30 年 3 月末まで特典を付けて進めた結果、再入会者が 105 人となりキャンペーンによる効果と考えられます。

- 3) 不特定多数の方々への詩吟を知らせる活動

①CM展開

吟界の低迷は、多くの方々が生吟を知らないことが最大の原因であることから、テレビ出演・ラジオCM放送等を行いました。今後この活動が幅広く吟界全体に広がる事を期待したい。

- ・ラジオ番組の提供 ラジオ関西 4月毎週土曜日 7:30~7:50

「お元気ですか春名祐富子です」

- ・ラジオ出演 ラジオ関西 平成29年4月29日 7:30~7:50

「お元気ですか春名祐富子です」

FMひらかた 平成29年5月1日 14:00~15:00

「永井ひろ子の かふえど すてーしょん」

- ・テレビ出演 サンテレビ 平成29年9月8日 9:15~9:30

平成30年1月12日 9:15~9:30

「歌謡花舞台」

②ホームページのリニューアル

- ・スマホ対応のリニューアル実施。
- ・情報伝達の迅速化への取り組みを行った。
- ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し、広く吟詠を紹介

③機関誌「吟詩日本」をリニューアル版で発行を行った。

- ・吟詩日本を時代に即応する為、読み易く・親しみ易い目標にサイズもB5版に替え、全面リニューアルを実施した。

④吟詠普及推進研修会

8地区で実施し、延べ2,636人が参加し、各種講演・吟法・科学的な発声法など熱心に研修され、不特定多数の方々にも意欲を示して頂きました。

7.研修活動

- 1) 海外移動教室の実施

平成29年5月16日~19日 中国 北京で海外移動教室を実施し、漢詩紀行と共に北京の首都師範大学の「中華吟誦学会」との日中吟詠交流会を実施しました。

- 2) 吟道大学講座

パナソニックの研修センターという素晴らしい環境の下、一泊二日で外部専門

講師等により専門的で深い内容の研修が行われ、受講生に感動を与えました。

- 3) 本部研修会

新吟題として漢詩（絶句）5題、俳句9題を発表し、平成30年度昇格試験課題詩についても各会代表者に研修を行いました。

- 4) 吟詠普及研修会

全国6か所で、会員並びに不特定多数の方々に吟法・発声法の研修を行いました。

8. 教本の改定

新Aその四（絶句60題）を発行し、単行本としてA68（絶句5題）D17（俳句9題）及び新Aその1点字本（絶句20題）を発行。新教本による内容の充実には、好評を博しました。

9. その他

各局内で横断的に各部会・委員会が活発に活動し、課題に対し効率的に活動された。

以上

# 平成 29 年度事業報告

自：平成 29 年 4 月 1 日～至：平成 30 年 3 月 31 日

## 1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行った。

### 公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

#### (1) 吟詠普及推進 吟詠地区大会 (一般来聴公募)

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。又地区事情に合わせて新指導者の研修に取り組んだ。

##### ① 総本部吟詠普及推進

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会 エーリック(尼崎)  
平成 29 年 6 月 11 日(日) 174 人参加(内一般会員他 50 人)

##### ② 地区吟詠普及推進

- ・九州大会 平成 29 年 6 月 18 日(日) 150 人参加(内一般会員他 60 人)
- ・岡山大会 平成 29 年 8 月 20 日(日) 140 人参加(内一般会員他 40 人)
- ・四国大会 平成 30 年 2 月 25 日(日) 開催無し
- ・京滋福大会 平成 30 年 1 月 28 日(日) 150 人参加(内一般会員他 60 人)
- ・東海大会 平成 30 年 2 月 18 日(日) 225 人参加(内一般会員他 70 人)
- ・和歌山大会 平成 30 年 2 月 予定 開催無し
- ・西中国大会 平成 30 年 3 月 17 日(土) 330 人参加(内一般会員他 100 人)
- ・浜松大会 平成 30 年 2 月 25 日(日) 190 人参加(内一般会員他 70 人)

#### (2) 吟詠普及推進 吟詠全国大会(一般来聴公募)及び各公認団体等の大会後援

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に鑑賞頂き吟詠の普及の取り組みを行った。

##### ① 吟詠普及推進 全国吟詠大会 (一般来聴公募)を開催した。

関西吟詩の自主公演を行い、演目は会員吟詠・幼少年吟詠・他流派若手優秀吟者吟詠・構成吟「篤姫」等の演目を行った。吟詠を不特定多数の方々にも吟詠の素晴らしさを鑑賞頂くことが出来た。

- ・平成 29 年 10 月 14 日(土) 大東市立サーティホール(大東市)  
1,017 人参加(内一般会員他 450 人)

##### ② 次の公認会の記念大会等に対する後援を行った。

- ・春洲会創立 55 周年祝賀会
- ・和歌山慧詠会創立 30 周年記念吟詠大会
- ・広島鷺夕会創立 45 周年記念吟詠大会
- ・鷺伸吟詠会創立 10 周年祝賀会

- ・翠岳新風会創立 5 周年記念祝賀会
- ・景和会創立 55 周年記念大会 等々

③新春全国吟詠大会（一般来聴公募）を開催した。

新年を寿ぎ平成 30 年 1 月 7 日（日）に太閤園（大阪）で、全国より会員及び不特定多数者を募り、プログラムは第一部：昨年度優勝者吟詠、第二部：会員吟詠と役員吟詠、第三部：懇親会の構成で開催した。関西吟詩の優秀吟者の吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に、一般来聴者にも紹介できた。

260 人参加(内一般会員他 50 人)

(3) 周年記念大会（一般来聴公募）

創立 85 周年を平成 30 年に控え、5 地区（九州・西中国・四国・東海・近畿）に分けて創立 85 周年記念大会の開催準備を、準備委員会から各地区別の実行委員会に切替えて行ってきた。

(4) 吟詠普及啓発活動の実施

- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣を行った。
  - ・小中学での課外授業への積極的参加
  - ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
  - ・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
- ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進を行った。
  - ・地方のケーブルテレビを通じて、吟詠大会の構成吟の放映を行った。
- ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
  - ・公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の提供
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加
  - ・アフリカの孤児救済チャリティーコンサートに参加、支援活動を行った。
  - ・海外移動教室の機会を活用し、北京の首都師範大学の「中華吟誦学会」と日中吟詠交流会を小学校の講堂を借りて行った。  
日本側の 34 人に対し、中国「中華吟誦学会」側は、小学生・中学生・青年部の出吟による総勢 200 人の熱烈な歓迎を受けた。
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加
  - ・毎年恒例で X'mas ライブの開催により、地域・出演者との交流を行った。

(5) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(4)項の各推進活動に対して、正副会で内容確認し、限度内で助成を行った。

(6) 全国青年部吟詠大会（一般来聴公募）を開催した。

青年部主導で平成 30 年 3 月 25 日（日）クレオ大阪東で、中華吟誦学会吟誦・詩吟ユニット xie ライブ・大学講師の講演・他流優秀吟者吟詠・関西吟詩の優秀吟者の吟詠と青年部による構成吟の発表で詩歌吟詠の普及と伝承が図れた。

380 人参加（内一般会員 200 人）

(7) 電磁的公報、機関誌発行

- ① 吟詠普及の為のテレビ放映及びラジオ放送出演を実施し、マスコミを通じて

の吟詠啓蒙活動を実施した。

・ラジオ番組の提供

ラジオ関西の4月毎週土曜日(4回)7:30~7:50

春名祐富子の「お元気ですか春名祐富子です」番組を提供した。

・ラジオ出演

ラジオ関西 平成29年4月29日(土)7:30~7:50

春名祐富子の「お元気ですか春名祐富子です」に出演。

出演者:山口 華雋先生、藤原 凜声さんがゲスト出演。

・FMラジオ出演

FMひらかた 平成29年5月1日(月)14:00~15:00

スタジオ:京阪枚方市駅改札口前

永井ひろ子の「かふえど すてーしょん」に出演。

出演者:山内 邦照先生他 翠川会会員3名

・テレビ出演

サンテレビ「歌謡花舞台」に出演。

①平成29年9月8日 9:15~9:30

出演者:池田 姫菫さん、阪本 苑鈴さんが出演。

②平成30年1月12日 9:15~9:30

出演者:藤原 凜声さんが出演。

② ホームページでの吟詠普及にスマホ時代に対応のリニューアルを実施した。

- ・情報伝達の迅速化への取り組みを行った。
- ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介。
- ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介。
- ・教場紹介コーナーの設置の検討

③ 機関誌「吟詩日本」をリニューアル版で発行を行った。(一般販売)

- ・吟詩日本を時代に即応する為、読み易く・親しみ易い目標にサイズもB5版に替え、全面リニューアルを実施した。
- ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
- ・「吟詩日本」発行 (177号、178号、179号、180号)

(8) 教本発行 (一般販売)

① 教本冊子頒布

新教本 A その1 初級編(既刊)	1冊(20題)
新教本 A その2(既刊)	1冊(60題)
新教本 A その3(既刊)	1冊(60題)
教本絶句詩編 A3 ~A6(既刊)	4冊(120題)
単行本 A61~A67(既刊)	4冊(23題)
教本律詩編 B1~B3(既刊)	3冊(90題)
単行本 B31~B33(既刊)	3冊(9題)
教本古詩編 C1~C3(既刊)	3冊(65題)
教本和歌・俳句・新体詩 D1(既刊)	1冊(30題)
単行本 D11~D16(既刊)	6冊(18題)

教本副読本(アクセント入り)

	4句詩編(既刊)	1冊
	6・8句詩編(既刊)	1冊
	長詩編(既刊)	1冊
教本縮刷本	A(絶句編)(既刊)	1冊
	B(律詩編)(既刊)	1冊
	C(古詩編)(既刊)	1冊
新教本発行	新教本Aその4(新刊)	1冊(60題)
	単行本A68(新刊)	1冊(5題)
	単行本D17(新刊)	1冊(俳句9題)
	新Aその1点字教本(新刊)	1冊(20題)
	・D号合本	1冊
	「和歌・俳句・新体詩」縮刷本を検討中。	
	・論語の吟詠集を検討中。	

②「たのしい吟詠」の配布(無料提供用教材)を行った。

- ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本(ドレミファの譜面付)
- ・論語の吟詠集の作成を検討する。
- ・英語テキスト作成の検討
- ・中国語(台湾語)テキスト作成の検討
- ・点字テキスト作成の検討

(9) 海外移動教室の開講

- ・中国研修(北京での世界遺産探訪と中国吟誦会との交流)を行った。  
平成29年5月16日～19日 参加者 34人
- ・北京の首都師範大学の「中華吟誦学会」と日中吟詠交流会を小学校の講堂を借りて行った。日本側の34人に対し、中国「中華吟誦学会」側は、小学生・中学生・青年部の出吟による総勢200人の熱烈な歓迎を受けた。

(10) 国内移動教室の開講

国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上を図った。

平成29年5月24日(水) 参加者 250人

- ・認承哲友会主管で日帰り吟行会を行った。  
行先：岡山県方面(最上稲荷・高松城跡・竹久夢二記念館等)

(11) 災害復興支援活動の実施

- ・災害復興義援金の募集活動(各事業毎に呼びかけ)を実施した。

**公益目的2** 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業を行った。

(1) 競吟大会の開催(一般来聴歓迎)

- ① 全国新人中間層競吟大会 平成29年11月12日(日)  
エーリック(尼崎) 参加者590人 出吟者312人



② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会 平成 29 年 12 月 10 日(日)  
現代劇場(高槻) 参加者 600 人 出吟者 307 人

③ 全国競吟大会予選大会を行った。  
大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区大会・岡山地区大会・  
四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・京都地区大会・  
滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会を実施した。

- ・ 内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与した。
- ・ 内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠の普及活動従事を要請した。

① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に行い、  
二次審査は総本部において行って総本部会長が昇段認定をした。

平成 29 年 7 月 1 日 昇段免許授与

平成 30 年 1 月 1 日 昇段免許授与

② 地方昇格試験および研修会を実施した。(師範・準師範・師範代)

福岡試験場 平成 29 年 6 月 18 日(日)

広島試験場 平成 29 年 6 月 18 日(日)

名古屋試験場 平成 29 年 6 月 18 日(日)

③ 昇格試験及び研修会を実施した。(総本部試験場)

師範 平成 29 年 7 月 2 日(日)

準師範 平成 29 年 7 月 16 日(日)

師範代 平成 29 年 7 月 23 日(日)

(昇格試験に合格したものには、9 月 1 日付で、9 月 10 日の東明祭において免許状を授与した。)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進 研修会

公益目的事業 1・詩歌吟詠の普及推進事業に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行った。

・ 吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会(本部)

平成 29 年 6 月 11 日(日) エーリック(尼崎)

174 人参加(内一般会員他 50 人)

・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会

平成 29 年 6 月 18 日(日) 150 人参加(内一般会員他 60 人)

・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会

平成 29 年 8 月 20 日(日) 140 人参加(内一般会員他 40 人)

・ 吟詠普及推進研修会東海地区大会

平成 30 年 2 月 18 日(日) 225 人参加(内一般会員他 70 人)

・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会

平成 30 年 2 月 25 日(日) 開催無し

- ・ 吟詠普及推進研修会浜松地区大会  
平成30年2月25日(日) 190人参加(内一般会員他70人)
- ・ 吟詠普及推進研修会和歌山地区大会  
平成30年2月 予定 開催なし。
- ・ 吟詠普及推進研修会西中国地区大会  
平成30年3月17日(土) 330人参加(内一般会員他100人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会  
平成30年1月28日(日) 150人参加(内一般会員他60人)

②指導者研修会を行った。

- ・ 推薦師範講習会 平成29年6月11日(日)  
エーリック(尼崎) 174人参加
- ・ 本部研修会(平成30年度師範昇格試験課題詩講習)  
平成29年9月3日(日) 大東市市民会館大ホール  
吟詠6題 和歌3題 216人参加
- ・ 本部研修会(平成30年度準師範師範代昇格試験課題詩講習)  
平成29年11月26日(日) エーリック(尼崎)  
律詩8題 絶句10題 226人参加
- ・ 新教本講習会  
平成29年5月14日(日) エーリック(尼崎)  
四句詩5題 290人参加  
平成29年9月10日(日) 大東市市民会館  
俳句9題 406人参加

③新指導者養成講座「東明未来塾」を開設 771人が受講した。

漢詩鑑賞、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修

○総本部コース

・開催回数

平成29年5月27日(土)	平成29年7月22日(土)
平成29年9月30日(土)	平成29年11月25日(土)
平成30年1月27日(土)	平成30年3月24日(土)
受講者数	50人

○地方コース

・西中国地区

平成29年10月21日(土)	平成29年12月17日(土)
平成30年2月18日(土)	
受講者数	50人

・東海地区(静岡・愛知・三重含) 3回/年間

受講者数 43人

・四国地区

平成29年6月24日(土)	平成29年8月26日(土)
平成29年10月21日(土)	
受講者数	37人

・九州地区(福岡・鹿児島) 3回/年間

受講者数 42人

④吟道大学講座を開講した。

- ・平成30年2月3日～4日 於：パナソニックリゾート大阪
- ・漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修 参加者 130人

⑤ 作詩講座（一般公募）を実施した。

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。

- ・毎月第2金曜日 午後3時～5時00分迄
- 年12回（前期、後期に分けて）
- 於：総本部 会議室 参加者数 延300人

⑥ 作詩添削を実施した。

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。

- 4回/年 参加者数 延240人

⑦ 漢詩鑑賞講座（一般公募）を開講した。

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

- ・2カ月1回（年6回含む吟行会1回）午後1時～4時00分
- 於：総本部 会議室 参加者数 延300人

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行した。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行った。

- ・教養指導部指導科会 10回以上/年
- ・教養指導部教養科会 6回以上/年
- ・秀詠グループ吟詠研究会 6回以上/年
- ・教本改訂委員会 10回以上/年

(5) 部会・委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行った。

- ・広報部 10回/年
- ・ホームページ委員会 10回/年
- 吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案の提言を行った。
- ・企画事業部 10回/年
- ・青年部 10回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置した。

- ・作詩添削委員会

## 2. 収益事業

### 収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等を頒布を行った。

#### (1) 参考図書販売

- ① 教本詳解
- ② 誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ③ 作詩便覧 宮崎東明編
- ④ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行  
中国編 関西吟詩文化協会発行

#### (2) CDの頒布

- ① 俳句新体詩伴奏曲集
- ② 和漢名詩選(1) (既存) ③ 和漢名詩選(2) (既存)
- ④ 和漢名詩選(3) (既存) ⑤ 和漢名詩選(4) (既存)
- ⑥ 和漢名詩選(5) (既存) ⑦ 本部指導者研修会収録編
- ⑧ 伴奏曲集(俳句・新体詩) (既存)
- ⑨ 国歌・関西吟詩会歌伴奏編 (既存)

#### (3) DVDの頒布

- ① 李白 ② 坂本龍馬 ③ 勝海舟
- ④ 西郷南洲 ⑤ 高杉晋作 ⑥ 吉田松陰
- ⑦ 義経 ⑧ 篤姫

### 収益2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を交付する事業

#### (1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

##### ① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与を行った。

平成29年7月1日

平成30年1月1日

##### ② 昇格資格者への免状の授与(師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与を行った。

平成29年9月1日

##### ③ 特別昇格(上師範・高師範・総師範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与を行った。

平成29年9月2日

#### (2) 記章の販売を行った。

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売を行った。

### 3. 相互扶助事業

その他 1 官崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業を行った。

- |                      |     |                      |
|----------------------|-----|----------------------|
| (1) 東明祭の開催           |     | 平成 29 年 9 月 10 日 (日) |
| (2) 会員増員表彰 (個人、支部、会) | 東明祭 | 平成 29 年 9 月 10 日 (日) |
| (3) 慶寿祝、成人祝          | 東明祭 | 平成 29 年 9 月 10 日 (日) |
| (4) 功労者等顕彰の実施        | 東明祭 | 平成 29 年 9 月 10 日 (日) |
| 吟功章                  |     | (上師範、高師範、総師範) /      |
| 特別吟功章                |     | (宗 範)                |
| 特別昇格                 |     | (上師範、高師範、総師範)        |
| 特別功労賞                |     | (宗 帥)                |

### 4. その他の事業 (法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業を行った。

- (1) 定時総会を開催した。  
平成 29 年 6 月 3 日 (土) 於:エーリック(尼崎市)
- (2) 各種会議
  - ① 総会
  - ② 役員会(正副会長会、理事会、)
  - ③ 元老・相談役・参与会議
  - ④ 部 会 (総務部・財務部)
  - ⑤ 懇談会  
都府県連合会代表者会議  
都府県連合会連絡協議会
  - ⑥ 東明未来塾運営委員会
  - ⑦ その他特別検討委員会

以上